

令和元年度 愛知県特定健診・保健指導研修会〈事業運営編〉実施報告

令和元年10月2日(水)に、愛知県内で特定健診・保健指導に携わる方を対象とした研修会を実施し、90名の参加がありました。

【参加状況】

●所属(人)

保健所	市町村	企業	健康保険組合	医療機関	保健指導機関	その他
5	36	18	19	8	2	2

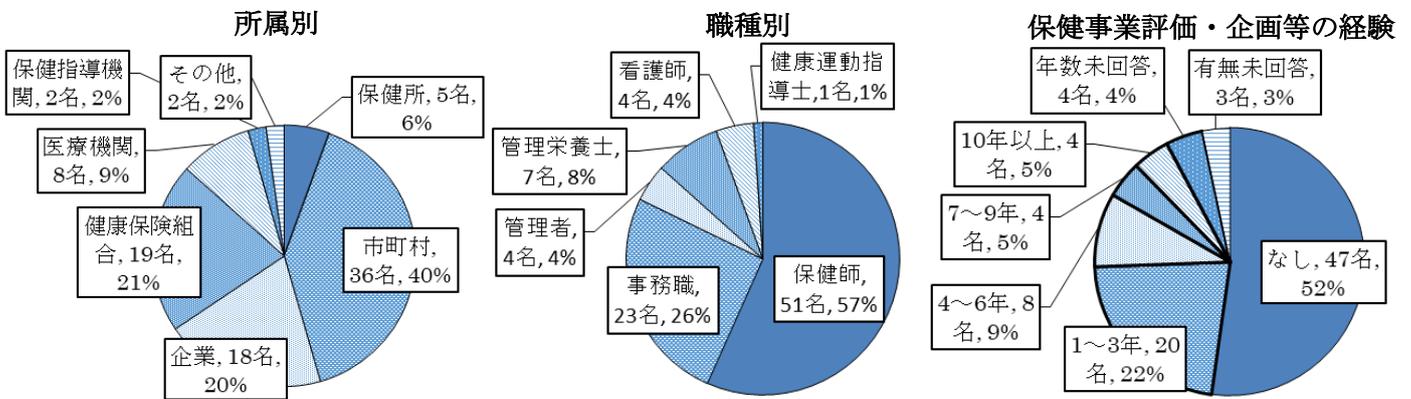
(その他：共済組合、財団法人)

●職種(人)

保健師	事務職	管理者	管理栄養士	看護師	健康運動指導士
51	23	4	7	4	1

●計画・評価に関する経験(人)

なし	1～3年	4～6年	7～9年	10年以上	年数未回答	有無未回答
47	20	8	4	4	4	3



今年度は「効果的な保健事業の運営と実施率向上のための体制づくりを考える」をテーマに、愛知県内で特定健診・保健指導の事業計画・運営に携わる方(事務職員等)、市町村・事業所等の医療保険者・特定保健指導チームのリーダー的立場にある専門職の方を対象に研修会を開催し、90名の受講がありました。

受講者は、所属別では行政、企業・健康保険組合の順に多く、職種別では保健師などの保健指導者が7割、事務・管理職が3割でした。

【研修会カリキュラム】

時間	令和元年10月2日(水)	リーダー	運営責任者
9:00	受付		
9:30	オリエンテーション		
9:35 (120分)	講義 「特定健診・保健指導(第三期)における 効果的な保健事業運営と実施率向上に向けて」 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代	◎	◎
11:35	5分休憩		
11:40 (60分)	講義 「ナッジ理論を活用した 特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」 株式会社キャンサーズキャン ソーシャルマーケティング事業本部 事業開発部 事業開発グループ 田島 皓生	○	◎
12:40	昼食(60分)		

13:40 (30分)	事例紹介①特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み 自治体事例 幸田町 健康福祉部 保険医療課 国保年金グループ 主事 河村 令子 豊明市役所 健康福祉部 健康長寿課 健康推進係 保健師 徳田 鈴香	○	◎
14:10 (30分)	事例紹介②モデル実施の実践事例 全国健康保険協会愛知支部 企画総務部保健グループ 主任(保健師) 中村 美葉子 あいち健康の森健康科学総合センター 管理栄養士 中村 誉	○	◎
14:40	10分休憩		
14:50 (90分)	グループディスカッション・発表 「研修を通じてヒトとなったこと」	◎	◎
16:20 (30分)	研修会のまとめ	◎	◎
16:50	アンケート記入、修了証交付		
16:55	終了 (17:15 送迎バス)		
		360分	360分

【研修会の様子】

当センターの津下センター長による「特定健診・保健指導（第三期）における効果的な保健事業運営と実施率向上に向けて」の講義では、特定健診・保健指導事業を効果的に行うために、第三期の変更ポイント・特長を生かし、効率よく事業を行うことや、まずは健診結果に関心を持ってもらえるような指導スキルの習得、PDCA サイクルに基づいた保健指導評価の実施について学びました。また、地域職域連携により、退職者、被扶養者、小規模事業場等の支援が不十分だった層へのアプローチを強めることの重要性や、若年者や後期高齢者への保健事業について、特定健診・保健指導制度にあてはまらない層への対応と国の動向、最新情報を学びました。

株式会社キャンサーズキャンの浅田 拓人氏による「ナッジ理論を活用した特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」の講義では、まずはアプローチしやすいところからカバー率を高めること、シンプルなメッセージ（14文字以内）で自分事化してもらおう伝え方等、ナッジ理論を活用した健診未受診者対策について学びました。

●講義「特定健診・保健指導（第三期）における効果的な保健事業運営と実施率向上に向けて」



●講義「ナッジ理論を活用した特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」

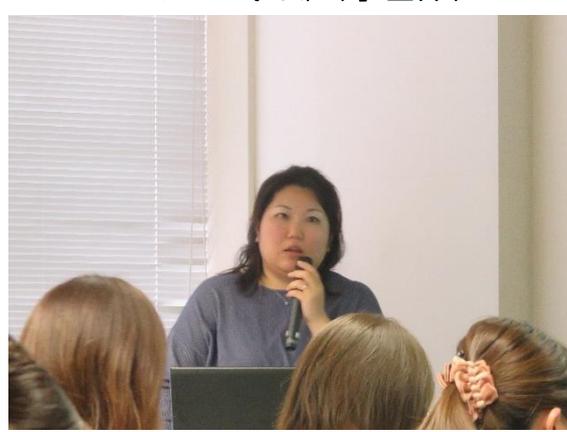


「特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」の自治体事例紹介では、幸田町保健医療課の河村 令子氏より、時期を区切った住民健診未受診者への受診勧奨や、過去の受診状況に合わせたリーフレットの送付等、特定健診受診率を上げるための取り組みの紹介がありました。また、豊明市健康長寿課の徳田 鈴香保健師より、初回面接分割実施と3か月後評価の導入により、利用者の負担軽減につながり、保健指導利用率・実施率が向上したこと、制度をうまく利用した事例紹介がありました。

●事例紹介「特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」幸田町



●事例紹介「特定健診・保健指導実施率を上げるための取り組み」豊明市



「モデル実施の実践事例」の事例紹介では、全国健康保険協会愛知支部の中村 美葉子主任より、モデル実施導入により、支援期間の短縮や、対象者・指導者の負担軽減につながり、約2割の方に効果が出たことについての紹介がありました。また、当センターの中村管理栄養士より、特定保健指導評価や、モデル実施での初回支援・継続支援の工夫点等、実際の分析結果をもとに紹介しました。

●事例紹介「モデル実施の実践事例」
全国健康保険協会愛知支部



●事例紹介「モデル実施の実践事例」
当センター



その後、グループディスカッションでは、「特定健診受診率、保健指導実施率を高めるために工夫していること」、「本日の講義を聞いて気づいたこと、学んだこと、参考になったこと」、「明日から取り組むこと」をテーマにそれぞれの職種・立場で意見交換・情報交換を行い、学びを深めました。

●グループディスカッション

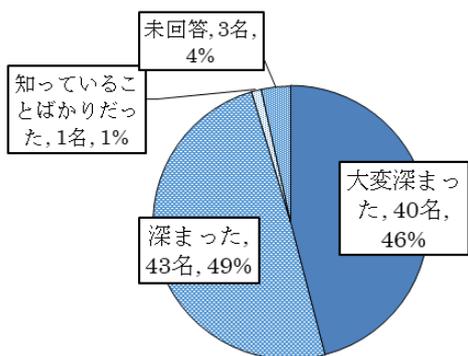


【アンケート結果】90名中87名から回収（回収率97%）

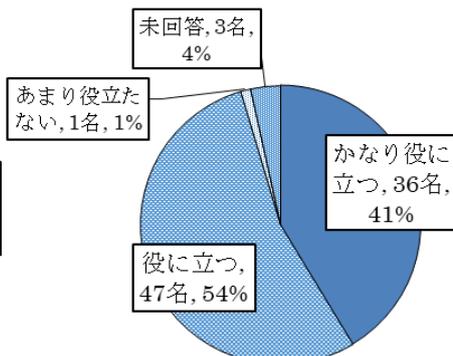
特定健診・保健指導の知識が「大変深まった」「深まった」との回答が9割以上、今後の業務への役立ち度は「かなり役に立つ」「役に立つ」との回答が9割以上、満足度も「大変満足」「満足」が9割以上と、有意義な研修会だったとの回答を得ることができました。

(1) 全体

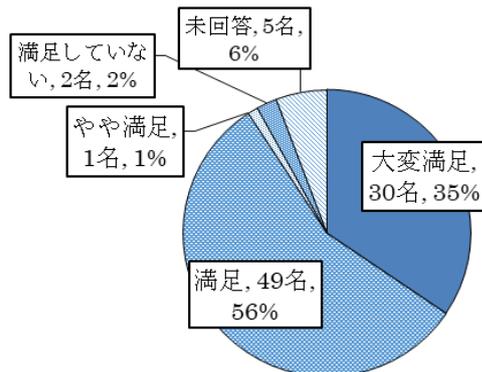
今回の研修会に参加して知識が深まりましたか？



今回の研修会は、今後の業務に役立ちますか？



今回の研修会に参加して、満足度はいかかですか？



<感想>

総論について

- ・第三期の変更点を取り入れる重要性、制度や国の最新情報について学ぶことができ、今後の課題が見えた。
- ・第三期の内容を理解することができた。行動変化につながる支援をあらためて考える機会になった。
- ・地域職域連携、保健所として市町村と保険者の間でどのように体制づくりをするか大変参考になった。
- ・市町村国保と協会けんぽの受診率の比較のマップ化に取り組んでみたい。
- ・若年者へのアプローチの重要性。リピーター対策について学ぶことができた。
- ・相手のニーズや現状を理解し、それに適した効果的な勧奨をすべきだと感じた。
- ・制度の理解、現プログラムの見直し、聞き取りマーケティング等取り組んでいきたい。
- ・伝え方、評価方法について、効果的な方法を学ぶことができた。マンネリ化している内容を見直したい。

ナッジ理論について

- ・ナッジ理論を健保内だけではなく、事業所にもわかりやすく広めたいと考えていたので参考になった。
- ・伝えたいことはシンプルに14文字で。リーフレット等、今後活用していきたいと思う。
- ・マーケティングやテクノロジーを保健事業に取り入れるのは今までなかった視点で、勉強になった。
- ・がん検診の事例が多かったので、特定健診や保健指導に対する展開を聞いたかった。

取り組み事例

- ・新しいことをはじめるときには様々な課題があり、検討しなければならないことが多いが、成果につながるものも多く、前向きに取り組んでいきたいと思った。
- ・評価が大切であり、保健指導にさらに力を入れる必要があると感じた。
- ・初回面接分割実施や、国保に加入する前後の世代へのアプローチの重要性も改めて学ぶことができた。
- ・他市町村の取り組みを聞き、データ分析を通して手法の見直しが必要だと改めて感じた。

グループワーク

- ・グループワークで今後の事業のヒントや意見をもらうことができた。
- ・多くの自治体が同様な課題で悩んでおり、共感できたと同時に、新しいことに一步踏み出して実施していかなければ何も変わらないと感じた。